



〈雑録〉再ビ外國汽船ノ輸入ニ就テ

倉田, 庫太

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 11(1):123*-130

(Issue Date)

1911-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051749>



再ビ外國汽船ノ輸入

ニ就テ

商學士 倉田庫太

外國汽船ノ輸入ニ關シテハ曩キニ本誌第十卷第三號及第四號ニ亘リテ記述スル所アリシガソノ後關稅實施期日ノ切迫スルト共ニ引續キ多數ノ外國汽船ガ購入セラレシヲ以テ最近世上ニ發表セラレシ事實ト前回拙稿中ノ記事トヲ綜合シテ茲ニ再ビ外國汽船輸入表ヲ示サン

此表ハ昨年四月以來即チ關稅改革ト海運界ノ好景氣持續トニ關聯セラレテ輸入セラレタル汽船ヲ示スモノニシテ元ヨリソノ大部分ハ見越輸入

ト稱スルヲ得ベシ然レドモ斯クノ如キ多數ノ輸入ハ獨リ關稅改正ニ依ル見越ニ非ズシテ昨年來海運界ノ好況持續ガソノ一部ノ原因ヲナセルコトハ爭フベカラザルナリ或ハ云ハン海運界ノ好況ハ關稅改革ニ伴フ貨物ノ見越輸入増加ノ爲メナリト然リ是モ亦事實ナリ。

最近外國汽船輸入表

原籍國	原 名	改 名	船 質	製造年代	總噸數	見當價格	噸割價格	船 主	記 事
獨 國	Jacob Diederichsen	山陽丸	鋼	一八九三	九六			島谷德三郎氏	
清 國	Peiho	天智丸	同上	一八九三	八三			宇田友四郎氏	
英 國	Bentomond	旭丸	同上	一八九〇	二七九八	九〇〇〇	三二六	日本商船會社	
同 上	Morven	稻穗丸	同上	一八九五	三三九	一六〇〇〇	四〇三	板谷合名會社	
獨 國	Singora	多聞丸	同上	一八九四	一八四三	六〇〇〇	三三六	八馬兼介氏	
英 國	Alsa Craig	乾坤丸	同上	一八九〇	三七七八	一四〇〇〇	三二七	乾汽船會社	
同 上	Java	梅丸	同上	一八九三	四三七	七五〇〇	一七五	合資會社原田商行	
同 上	Beira	神海丸	同上	一八九四	四二六			岸本兼太郎氏	
同 上	Japan	神邦丸	同上	一八九三	四三三			同 上	
同 上	Kaisow	神通丸	同上	一八九五	四二二			同 上	
同 上	Hin Sang	開平丸	同上	一八九〇	二四三			八卷知道氏	改測三二噸
同 上	Amara	多賀丸	同上	一八九二	二四五四			麻生音波氏	
同 上	Harford	幸壽丸	同上	一九〇九	四二			藤岡幸一郎氏	改測五七五噸
同 上	Ching Wo	雲海丸	同上	一九〇四	四一〇〇	一六〇〇〇	三三三	中村精七郎氏	
獨 國	Vorwärts	天武丸	同上	一八九五	一〇七			宇田友四郎氏	改測九五噸

同	上	Germania	同上	一八五五	三四五	一六〇〇〇	五〇一	同	上
英國	同上	Hsi-Ping (國本)	松丸	同上	一八七	二〇〇〇	六〇〇〇	三三〇	改測三〇三噸
同上	同上	Hilary	三角丸	同上	一八九	一九三	六〇〇〇	三六	大川運輸會社
獨	國	Loyal	多聞丸	同上	一八九三	一五三	六〇〇〇	七九〇	橋本喜造氏
英國	同上	Mortlake	多聞丸	同上	一八九	二七六	八〇〇〇	元興	改測二五九噸
獨	國	Korat	大東丸	同上	一八九五	一九〇	八〇〇〇	四二一	八馬兼介氏
同上	同上	Bangkok	共同丸	同上	一八九六	一九〇	八〇〇〇	四二七	大川運輸會社
同上	同上	Tringarn	太陽丸	同上	一八九〇	九六	五〇〇〇	四七	改測二六五噸
英國	同上	Indrani	神武丸	同上	一八九四	四九四	一九〇〇〇	四二六	阿波國共同汽船會社
塊	國	Jenny	同上	同上	一八九九	二四七	四二六	岸本兼太郎氏	改測一九七噸
英國	同上	Lucia	日州丸	同上	一九〇〇	三六五	一五〇〇〇	六三	或報告ハ一七〇〇〇圓トアリ
那	國	Nord	同上	同上	一八九五	二六	三〇〇〇	岡崎藤吉氏	或報告ハ一三〇〇〇圓トアリ
同上	同上	Hydra	同上	同上	一八九	一三三	三〇〇〇	尾城汽船會社	
英國	同上	Georgia	同上	同上	一八九	二七九	一四七〇〇	五三	松本某氏
同上	同上	Macduff	同上	同上	一八九〇	二〇五	一〇五〇〇	三六	山下龜三郎氏
同上	同上	Baron Eldon	東海丸	同上	一八九	三〇五	一九〇〇〇	五二六	乾汽船會社
同上	同上	Hudson	同上	同上	一九〇〇	三六九	三〇〇〇	三	小柳某氏
同上	同上	Nanshan	皇月丸	同上	一八七	二七〇	四四〇〇〇	三七四	三上豐夷氏
同上	同上	Indrapura	印度丸	同上	一八九七	四六六	二〇〇〇〇	五〇八	勝田某氏
清	國	? Kiang Ping	日航丸	同上	一八三	一八三	二〇〇〇〇	五〇八	大阪商船會社
英國	同上	Bucenaur	西海丸	同上	一八三	三六三	二〇〇〇〇	五〇八	岡崎藤吉氏
									改測二五〇噸
									小柳某氏

同上	Buccania	同上	一八六	四〇三
獨國	Holstein	海幸丸	鐵	一八二
英國	Dundas	鋼	一九二	三〇七
不	詳		四〇〇	一五〇〇〇

岸本兼太郎氏	改測二六〇七噸
角田幸吉氏	或報告ニハデンダ號トアリ
宇都宮某氏	或報告ニハセウシヤン號トアリ
詳	

備考 1 本表ハ正確ヲ保セズ

2 價格ハ見當ナルヲ以テ實際ニ於テハ多少ノ高低アルモノト知ルベシ

世上ニ傳ハル所ニ依レバ昨年ヨリ今日迄(五月迄)ノ輸入隻數二十七隻此總噸數約七萬噸近日中ニ輸入手續ヲ終了スルモノ十五隻總噸數約四萬二千噸而シテ關稅改定率實施迄ニ商談ノ成立スベキモノ五六隻此總噸數約二萬噸累計船隻ニ於テ約五十隻總噸數ハ約十五萬噸ニ達スベシト而シテ此價格ハ船種船型船齡等ニヨリテ多大ノ杆格アルベキモ平均總噸數一噸約四十圓ヨリ五十圓ノ間ナルベシ故ニ約十五萬噸ノ汽船輸入價格ハ略六百萬圓以上ニ達スベシ然リ而シテ最近ニ商談ノ纏マリシモノ十五隻ノ價格ニテモ約百二十萬圓許ニ及ブト云フ即チ最近一ケ年間に於テ約十五萬噸ノ増加ヲ視タルガ之ニ對シテ

昨四十三年中船舶原簿登錄中ヨリ抹消セラレタルモノニ十一隻三萬五千三百九十五噸アリ而シテ本年ニ入り難破シタルモノ大形汽船二隻(恒春丸及米山丸)五千四百九十六噸アリ合計四萬八百九十一噸ハ我船籍ヲ喪失シタルモノナリ故ニ外船輸入ニヨリテ増加セル我汽船噸數(steam tonnage)ハ約十一二萬噸前後トナルベシ然リ而シテ此増加噸數ハ日露戰役後ノ海運界トシテハ頗ル異例ナルナリ最近新聞紙上ニ大阪岸汽船株式會社ノ調査セシ所ナリトシテ發表セル事實ヲ視ルニ明治三十六年以降同四十二年ニ到ル比年ノ汽船増加噸數ハ左表ノ如シ。

年 代

合 計 噸 數

前年比較増加

明治三十六年	六五七、二六九噸	一三三、七八八噸
同 三十七年	七九一、〇五七噸	一四一、六八三噸
同 三十八年	九三二、七四〇噸	一〇一、七一五噸
同 三十九年	一、〇三四、四五五噸	七四、九八八噸
同 四十年	一、一〇九、四四三噸	四三、八九七噸
同 四十一年	一、一五三、三四〇噸	三六、六七二噸
同 四十二年	一、一八九、九五七噸	

即チ最近外國汽船輸入ノ最多ナリシハ明治三十
八年ノ戰役中ナリシヲ知ルニ足ラン。

目下我海運界ハ近年稀ナル好況ノ頂點ニア
リ毎月増加スル船腹ヲ吸取シテ尙且ツ足ラザル
ノ有様ナリ即チ門司橫濱間ノ石炭運賃ハ一圓十
錢乃至五錢ノ高率ニアリ然レドモ平時ニ於テ斯
カル多數汽船ノ激増ハ海運界ノ前途ニ平行スベ
キモノナリヤ大ニ疑ヒナキ能ハズ此影響ハ改正
關稅實施セラレ荷物ノ見越輸入止ミシ今年ノ秋
期ヨリ冬枯時期ニ於テ船腹超過ノ現象ヲ呈セザ
ル哉船主ノ爲メニ前途ヲ悲觀スル論者モ尠カラ

ザルナリ今昨年来如何ナル種類ノ船舶ガ輸入セ
ラレシヤヲ視ルニ船主別ニシテ主要ナル舊船主
ヲ舉グレバ左ノ如シ。

元 彼阿會社船	二 隻
元 Ocean S. S. Co. 船	二 隻
元 Bucknall S. S. Co. 船	三 隻
元 北獨逸ロイド會社船	四 隻
元 獨人 M. Jensen 所有船	四 隻
元 Indra Line 船	二 隻

吾人ハ輸入船表ニヨリテ輸入セラレタル外國
汽船ハ千八百九十年代上半年期(九十年ヨリ
九十五年迄)ノモ
多數ヲ占メソノ平均價格總噸數一噸ニ付約四十
圓見當ナルヲ知ルヲ得ベシ之ニヨリテ是レヲ視
レバ平時極東市場ニ於テ十五年乃至二十年ノ船
齡ノ鋼製汽船ハ總噸數一噸平均四十圓前後ニ當
ルヲ知ラン然リ而シテ是等ノ船舶ハ今後何年位
使用セラルベキハ船主ノ採算上大ニ注意スベキ
コトナルガ我國ニ於ケル古船ノ解撤價格(Break-
up Value)ハ目下總噸數一噸約十圓ヨリ十五圓見

當ナリト云ヘバ個人船主ノ使用スベキ命數ハ約三十年ト推定シ輸入當時ノ船齡十五ケ年平均トスレバ今後ノ使用年限十五ケ年ニシテ此間ニ償却スベキ船價ハ

Purchased Value 40 yen per Gross Ton—Break-up Value 10 yen per Gross ton = 30 yen

即チ金三十圓トナル故ニ一ケ年ノ償却價格二圓ニシテ買入原價ニ對シ略五分ニ當ルベシ。

造船界ノ近況

關稅改革ト外國汽船輸入トノ關係ニ就テハ前述スル如ク許多ノ外國汽船購入ヲ視タルガ翻テ内地造船界ガ如何ナル影響ヲ受ケシヤヲ考量スルニ個人船主ガ内地造船界ニ二千噸以上ノ大汽船ヲ注文シタルヲ聞カズ即チ個人船主對内地造船界ニハ未ダ何等ノ反響ヲ生ゼザルガ如シ茲ニ最近世上ニ發表セラレタル我國船主ノ造船計畫ヲ表示セン。

船主	造船地	船積	隻數
三井物產株式會社	英國	三千噸級	二隻
同	同	八千噸級	二隻

使途、航路又ハ船型

〔カンチレーバーフレームド〕
船主トシテ石炭運搬用

同

鐵道院	川崎造船所	三千噸級	二隻	右ノ内三千噸級ハ船首ニ機關室ヲ設置ス八千噸級ハ中央ニ裝置ス最近回着ノ筈ニ關釜連絡船建造費豫算一隻六十萬圓起工本年竣工四十五年ト四十六年「速力十五節」
東洋汽船株式會社	川崎造船所	八千噸級	二隻	南米航路充用船
大阪商船株式會社	(英國) アームストロング會社	三千噸級	二隻	南滿航路充用船

鐵道院

川崎造船所

三千噸級

二

隻

八千噸級

二

隻

三千噸級

二

隻

〔南滿航路充用船〕
本年十二月回着ノ筈

日本郵船株式會社
個人又ハ會社
帝國
重要ナル軍艦ニシテ私
立造船所ニ建造セシム
ルモノハミ

三菱造船所
川崎造船所
內地各造船所
三菱造船所
川崎造船所

六千噸級
トロール漁業船
裝甲巡洋艦
二六八〇〇噸

三隻
約二十隻
霧島
榛名

米國航路充用船一隻三菱ニテ
起工濟、一隻川崎ヘ注文ノ由
他ノ一隻未詳

備考 本表ハ正確ヲ保セズ然レドモ最近新聞雜誌ニヨリテ世上ニ發表セラレシモノヲ枚舉シタルモノトス

右ノ表ニヨレバ本邦汽船トシテ將來登錄セラ

ルベキモノ、內内地造船所ニ於テ起工サレ又ハ
近ク起工セラルベキモノハ千噸級二隻六千噸級
三隻三千噸級二隻計七隻アリ尙此外義勇艦隊第
三船滿鐵ノ大連上海間ノ連絡船ノ新造等アルベ
キヲ以テ我造船界ノ前途ハ多望ナルベシ。

然リ而シテ茲ニ注意スベキハ川崎造船所ガ昨
年十一月二十八日進水シタル貨物船大運丸ヲ自
ラ運用シツ、アルコトナリ蓋シ造船所ガ純貨物
船ヲ自ラ製造シ自ラ之ヲ運用シツ、アルハ仕入
船建造ノ現象トシテ我海運界ニ於テ注視スベキ
コトナラン歟參考ノ爲メ該船ノ大要ヲ示サン。

總噸數 二九四〇噸
登簿噸數 二三四二噸ノ貨物搭載量豫備燃料炭庫共
重量噸ニテ 四二〇〇噸
船級資格 ロイツ協會 I.O.A.T.
吃水 最二一呎六吋
公稱馬力 一〇三
長サ 二九八呎一吋

製造價格ハ固ヨリ不詳ナレドモ總噸數一噸金
百四十圓前後ナリトスレバ約四十萬圓ニ當ルベ
シ、仄聞スル所ニテハ英國ニ於テハ「カンチレー
バーフレームド」式ノ純貨物船ハ總噸數一噸金
八磅位ニテ製造シ得ベシト云フ、故ニ我國ニ於
テハ此原價ニ回航關稅（總噸數一噸ニ付金二十
圓）ヲ加算シタルモノト比較シ總噸數一噸百十

圓前後ニテ新造シ得ハ英國造船者ハ競争シ得ル譯ナラン歟。

然レドモ個人船主ガ關稅改定後ニ於テ内地造船所ニ貨物船ヲ注文スベキヤ或ハ價格安キ中古船ヲ輸入スベキ哉多少ノ懸案ナレドモ從來ノ趨勢ト個人船主一般ノ資力ニ於テハ余輩ハ依然中古船購入ノ傾向アルベシト信ズルモノナリ。此事ハ外國汽船輸入表ノ購入價格ヲ一覽スレハ思ヒ半バニ過ギルモノアラン。

茲ニ看過スベカラザルハ個人船主汽船幸壽丸ガ近キ將來ニ於テ大連又ハ西貢ヨリ歐洲(ハル又ハ倫敦)ニ航過セントスルコトナリ果シテ實現セラレナバ之個人船主ノ航業圈ニ關シ一ツノ記錄ヲ作ルモノナリ因ニ同船々長ハ英人ナリト云フ、茲ニ外船輸入ノ續稿ヲ終ハル他日船舶經濟ナル題下ニ個人船主ノ選擇スベキ船型ソノ他ニ就テ卑見ヲ開陳セン。

追記本稿記シ終ハリシ所ニ更ニ報告アリ幸壽

丸ノ歐洲行ハ取消サレタリト又第三義勇艦ハ長崎三菱造船所ニ注文セラレタリト云フ。